

第5回 熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会 会議録要旨

日時：2018年2月16日(金) 18:00～19:00

場所：町田市役所 10-3,4,5 会議室

■出席者（敬称略）

○委員

所属	名前	出欠
法政大学名誉教授	永井委員長	○
桜美林大学教授	山口委員	○
町田リサイクル文化センター周辺 まちづくり協議会	高橋委員	○
	小林委員	○
	守屋委員	○
	佐藤委員	○
青少年健全育成小山田地区委員会	齋藤委員	○
NPO 法人アイスフォゲルスポーツクラブ	原田委員	○

○協力員

所属	名前	出欠
下小山田町内会	中丸協力員	○

○事務局

	所属	名前	出欠
町 田 市	企画政策課	樋口担当課長	○
	環境資源部	水島部長	○
		田中担当部長	○
	環境政策課	塩澤課長	○
		高橋担当課長	○
		山田担当係長	○
		伊藤	○
	循環型施設整備課	守田課長	○
		布施担当課長	○
	資源循環課	林担当課長	○
		喜多担当係長	○
	スポーツ振興課	地福	○
		新担当課長	○
	公園緑地課	小野	○
市コンサルタント		アルテップ2名	○

○傍聴者 0名

■配布資料

- ・ 次第
- ・ 第4回検討委員会での主な意見 資料1
- ・ 市民意見募集実施結果 資料2
- ・ 熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（案） 資料3
- ・ 熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（案）の策定について（報告） 資料4

■議事要旨

○開会

- ・ 事務局より、資料確認

○報告

（1）第4回検討委員会での主な意見について

- ・ 事務局より、資料1について説明

委員長 今確認した内容を前提として本日の議論を進めたい。

○議事

（1）市民意見募集実施結果について

- ・ 事務局より、資料2について説明

委員等 住民への周知について、「町内会や自治会等からの要望に応じて説明」するだけでなく、市政懇談会とあわせて周知するなど、積極的に実施することはできないか。

事務局 基本構想は策定後にホームページで公開する予定である。また、市民意見募集の際に、基本構想の策定を進めていることはホームページや色々な場所で公開した。そのため、市の考えとしては、詳しい説明が必要だという意見があれば、説明にうかがうという形でまとめている。

委員等 まちづくり協議会などでの説明もあるのか。

事務局 詳しい説明が必要だということであれば、説明に参りたい。

委員等 市民意見募集を出して本当に意味があるのかということが気になる。意見募集で出てきた内容について、結果は同じであろうとしても、ざっと説明するだけではなく、この委員会の中で市の答えを検討したほうが良い。ホームページで答えるだけで、意見を出した人に個別には対応しないのか。意見を出した側としてはどう扱われたのかが気になる。意見は公開資料の中に全部入るのか。

事務局 多少元の意見から要約しているものの、意見・市の考え方ともに資料2の通りホームページに掲載する。

委員等 意見募集で出された意見を最終の委員会で報告するのではなく、1回前くらいに協議する場があれば良いと思った。

委員長 ご意見に対する市の考え方が公開されるということで、ご意見への対応はできているように思うが、確かに答え方としてこれで良いのかという部分はあるかもしれない。そのほか、ご意見がなければ、今日確認した内容をもとに、市民意見募集の結果を公表する形で事務局のほうで手続きを進めてもらいたい。

(2) 熱回収施設等の周辺施設整備基本構想(案)について

・事務局より、資料3について説明

委員等 18ページの整備イメージ図の交通公園について、技能走行コースの標示の並びが、試験を想定して、北から8の字、クランク、ジグザグ、でこぼこ、板乗りの順とするのが望ましいので、間に合うようであれば修正してほしい。

また、20ページのイメージ図について、土木資材置場は土木・公園サービスセンターとセットになっているということだが、土木資材置場のスペースは交通公園の団体来園者をバスで送迎する際の転回場所になるので、ぜひ活かしてほしい。土木資材置場は移転の可能性もあるが、サービスセンターが老朽化しているため、建替えの際に有効なスペースをつくり、敷地内に土木資材置場を確保することもあり得るが、移転という表現で良いのか。

28ページの2017年度以降のスケジュールについて、来年度以降の基本設計・実施設計にあたっては市民協働の視点も必要。ごみ資源化施設の整備連絡会が市の直営で設置されているが、そのような検討組織もある。考えがあればお聞かせ願いたい。

事務局 18ページの図については、イメージ図であるものの、なるべく現実的な内容に近づけられるよう、基本構想策定までに修正していきたい。

20ページについては、ここで記載している「移転」は、土木資材置場の移転のことであり、土木・公園サービスセンターを建替えて敷地内に土木資材置場を確保する場合も、現・資材置場の機能は移転することになるので、この表現は残していただきたいと思う。

28ページについては、池の辺地区と健康増進温浴施設については来年度から基本設計に入るが、2ページ(2)に市とまちづくり協議会の間で締結した「町田リサイクル文化センター周辺地域の整備推進に関する覚書」について書いた通り、市が単独で進めるのではなく、意見を取り上げる場を設定し、協働で進めていくものだとして認識している。

委員等 19ページの「運営方法の検討」について、地区協議会のメンバーも入れて検討するなど、検討する段階で地域住民の意見も取り入れてほしい。

23ページの図について、2階の脱衣所の中にトイレを描いてほしい。

委員等 27ページの温浴施設の「施設の運営」について、民間活力の導入も含めた運営方法の検討は良いと思うが、その運営方法の検討をどの時点で進めるかが重要。運営方法を検討し、その方法に合った事業者を選定しなければならない。単にお風呂とサウナがあるだけではなかなか魅力が出ない。類似施設で微量な電流を流して血流を良くする設備を入れているところがあって人気だが、そのような設備を作る際は投資にも工夫が必要。そのような色々な工夫ができるようにしてもらいたい。建物が決まってから一番安いところで落札する形だと、人気のない施設になってしまう。前倒しで検討してほしい。

事務局 作る以上は、喜んでいただける施設にしなければならないと思う。基本構想の文章としては細かく書かないが、今のご意見のようなことも含めてこのような文章を書いたと理解していただきたい。

委員等 委員会の中では民間の運営を圧迫しないように、作り過ぎないというところから始まっている。この範囲の中でできるだけ努力していただいたほうが良いが、このスペースで魅力を作って収益事業にするのは民間事業者としては厳しい。

委員等 難しさについては認識している。ただ、プールに附属するお風呂として一緒くたに指定管理者を決めると、問題があるのではないかと思う。

- 委員等 税金をなるべく使わないで管理・運営するためにも、今ある室内プールの指定管理者が温浴施設も兼ねるとするのが一番良いと思う。温浴施設単独では難しいだろう。
- 委員長 文章も「室内プールとの整合性を考慮しつつ」となっており、それは検討されていることかと思う。
- 委員等 それありきでは良くない。検討の結果、今の室内プールの指定管理者が良いということであれば良いが、室内プールの指定管理者はスポーツ施設の管理者であり、温浴施設とは性格が異なる。他の事業者を入れる可能性もあるという前提で検討してもらいたい。
- 委員等 室内プール第2駐車場・第3駐車場からのスロープは、室内プールの改修計画の中で整備するというのが従来の説明だったが、健康増進温浴施設の整備と併せて整備されるのか。室内プールの改修と健康増進温浴施設の整備は同時になるのか。
- 事務局 健康温浴施設とあわせて整備する。
- 委員等 ご担当ではないかもしれないので、確認していただければ良いと思う。
- 委員長 今日色々ご意見が出され、覚書に沿って市民協働で進めていくということで、今後とも話し合いが続くことかと思う。このような形で基本構想案をまとめるということで宜しいか。よろしければ、検討委員会で検討した成果として、**資料4**の報告書とともに、本日まとめた基本構想（案）を3月6日（火）開催の循環型施設推進本部で提示する。

（3）熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（案）の策定について（報告）

・樋口担当課長より、**資料4**について説明

- 委員等 峠谷地区と旧埋立地の整備についても言及されているので、これで良いと思う。
- 委員等 総体的なことになるが、市長が公約の中でモノレールの導入に力を入れており、駅の位置は決まっていないが、桜台通りを通るルートは変わらないと思うので、沿線街づくりの視点も売りにできると良い。
- 委員等 （資料3の）23ページの図面のスロープについて、道路側に余裕がありそうなので、幅をもう少し広くできないか。
- 委員長 資料4について、他に意見がなければ、この内容でまとめたい。

○閉会

- ・事務局（水島環境資源部長）より、閉会のあいさつ

以 上